



トリオ株式会社
会社案内

会社概要



- ・会社名 トリオ株式会社
- ・本社所在地 愛知県瀬戸市
西本地町2-277-1
- ・創業 昭和46年1月
- ・資本金 1,000万円
- ・代表者 代表取締役 加藤義之
- ・従業員数 110名
(2026年3月時点)



経営理念

ものづくりを通して世の中の進歩発展に貢献し、
従業員のやりがいとその家族の幸せを追求する

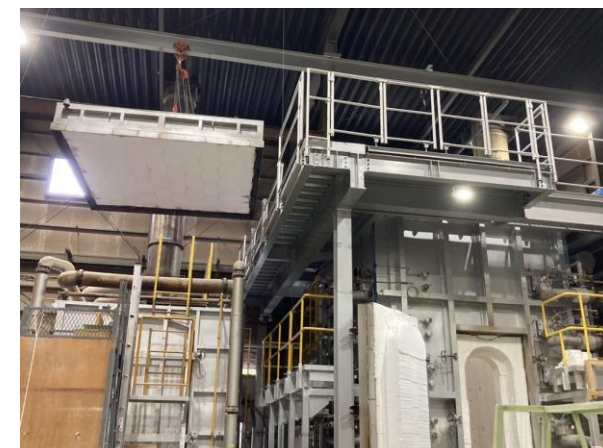
Vison

人に選ばれ、人が集まり、人に愛される会社へ

沿革



- 1971年1月 愛知県瀬戸市にて熱電対・ヒーター部品の販売を開始
- 1976年11月 有限会社トリオ商事を設立
- 2002年10月 柿野工場を開設（メーカーとして製造開始）
RHK用ローラー等ムライト押出製品の製造・販売を開始
- 2003年3月 高純度アルミナ押出製品の製造・販売を開始
- 2007年11月 研削加工工場として坂上工場を開設
- 2010年8月 液晶・半導体製造設備向けCIP成形素材の供給を開始
- 2013年1月 セラミックスメーカーとして展示会へ初出展
- 2014年3月 工作機械のメンテナンス・オーバーホール事業を開始
- 2014年6月 旭工場を開設（エンジニアリング事業開始）
- 2014年10月 西日本営業所を開設
- 2021年5月 赤津工場を開設
- 2023年5月 中日本事業所
- 2023年8月 福岡営業所を開設
- 2026年3月 トリオ株式会社に社名変更



事業内容



■セラミックス事業

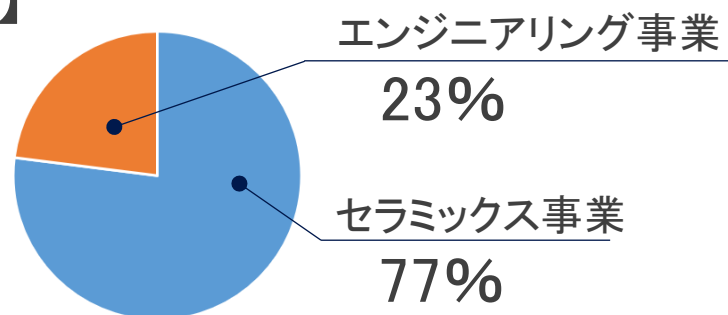
- ・ファインセラミックスの製造、販売、加工
- ・高性能セラミックスの開発 など



■エンジニアリング事業

- ・工作機械の修理やメンテナンス
- ・新規、中古工作機械の販売 など

【売上高比率】



before



after

セラミックスとは

■ オールドセラミックス

やきもの（陶磁器） = 土器、陶器、磁器

土器：粘土を原料として700～800℃で焼成（瓦や植木鉢など）

陶器：1200℃前後で焼成（食器やタイル、信楽焼など）

磁器：陶石を原料、1300℃前後で焼成（有田焼や碍子など）



■ ニューセラミックス

1500℃前後で焼成（電子部品、炉材用として多く使用）

■ ファインセラミックス

1600℃前後で焼成された高機能・高性能のセラミックス



どこで使われている？



■自動車関係

- ・メモリ、CPU
- ・センサー部品
- ・ナビの電子部品
- ・排ガス浄化触媒
- ・スパークプラグ

■スマートフォン



- ・メモリ、CPU
- ・センサー部品
- ・リチウムイオン電池
- ・コンデンサ

■その他の製品

- | | |
|----------|--------------|
| ・腕時計 | ・ドライヤー |
| ・電子レンジ | ・入れ歯（テストピース） |
| ・ホットプレート | ・人工関節など |

※セラミックスが使用されている製品例になります。

トリオセラミックス製品



■高純度緻密質アルミナ



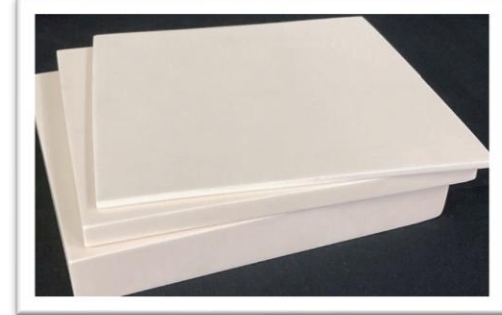
PT0-SH



PT0-絶縁管



PT0-HG



PTC-SP(アルミナ板材)

■ムライト



PT1-SH



PT1-HG

■ジルコニア



PSZ-SP



PSZ-SFT

セラミックスの製造プロセス



調合・粉碎・混合



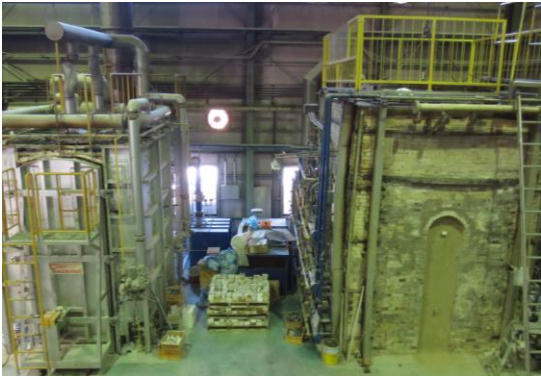
製土



成形



乾燥



焼成



加工



検査



梱包・出荷

トリオの強みや特徴



■付加価値の高いセラミックス製品

長年、セラミックスに関わってきた経験と技術で、素材選定から加工・出荷までを一貫し、付加価値の高い製品を提供しています

■会社と共に成長できる環境

常に新しいセラミックス製品の開発や新事業への挑戦を続け、従業員と会社が共に成長しています

■働き方改革の推進

残業低減、有休取得の促進、健康経営、ワークライフバランスなど従業員が働きやすい職場づくりを推進しています

■福利厚生の実

福利厚生サービス、勤続表彰、メモリアルギフト、サンクス休暇インフルエンザ予防接種補助など従業員の生活をサポートしています

■地域社会への貢献

瀬戸の女子サッカーチーム（ラブブリッジ名古屋）の法人パートナーやせともの祭りの協賛などを通じて地域社会に貢献しています



協賛チーム（ラブブリッジ名古屋）